



以上のように、インターンシップや地域ボランティアを行うと、きにも企業の皆様は、多忙な日常の業務を割いて未熟な高校生を懇切丁寧に指導いただきまし。その甲斐あって、生徒の皆さんも、そのご厚意に甘えることなく、前向きに、ひたむきに、明るく取り組んできました。これからも仙台工業高校は、地域企業や社会と連携した「ボランティア」による笑顔の交流を大切にしながら「次の時代を担うエンジンニア」を育成してまいります。そして、このたび卒業を迎えたお子様たちが、社会人になってからも、是非、高校時代に交流した企業や地域の皆様の笑顔を思い出し、積極的に後輩たちの育成に携わりながら、一生涯に渡って社会に貢献するエンジンニアとなる事を切に願っています。



文部科学大臣賞 優良学校賞 受賞!

地域の皆様に支えていただいた、三年間を忘れない!!  
校長 丹野 高雄

本日は、ご卒業、誠にありがとうございます。保護者の皆様のお慶びはいかばかりかとお察し申し上げます。さて、令和二年一月十五日、東京で文部科学省の表彰式があり、本校は地域社会に役立つ自分を確立する「自分づくり教育（職業に関するスキルを育む教育）キャリア教育」を受賞しました。取組の内容が、皆様のお子様やインターンシップ等で地域企業の皆様のご支援で身につけた技術や技能を活かし、その恩返しに各学科の特色ある様々なボランティアを地域社会で展開し、地域の皆様を長年にわたり笑顔にしてきたものです。

＜各学科の取組＞

○建築科  
一・二学年の生徒たちが「福祉キャラバン隊」を編成し、高齢者の住宅の廊下や玄関、お風呂などに「手すり」を設置しました。  
○機械科、電気科  
二学年の生徒たちが本校に隣接する「宮城野小学校」と「東宮城野小学校」の児童に対して「プログラミング教育」の一環として「レゴロボット」を使用し、「出前授業」を行いました。  
○電気科  
二種電気工事士の資格を取得した二年生の生徒たちが「テクノボラティア」と称し、隣接する「宮城野団地」のお宅で古くなったコンセントやスイッチを新しいものに交換したり、高齢者のお宅の電球を交換してきました。

○土木科

二学年の生徒たちが近隣の小・中学校の校庭に、測量機器（トータルステーション）を使用し「運動会」や「小学校総体」等の走路用のラインを正確に描きました。また、三年生の課題研究で絶滅危惧種のアフリカの「クロサイを救う募金」のシンボル「クロサイのモニュメント（縮尺1/3）」を製作し、八木山動物園に寄贈しました。

建築科三年

みやぎ建築未来賞2019大賞

日時 令和元年十一月十五日(金)  
会場 アエル 2Fアトリウム  
テーマ 「住宅×幸福」自然と共存する北米スタイルの家  
A3 門田 勝太



今回は、模型制作に力を入れた。今までコンペ用の模型を作ったことがなかったため、ジオラマ制作の本などを購入し、良い作品になるよう努めた。その結果、審査員にも自分が表現したかったことが伝わった。

電気科三年

テクノボランティア

令和元年十二月十八日(水)  
実施場所 宮城野団地  
作業内容 スイッチの交換  
コンセントの安全点検  
E3-1 千葉 大輝



電気科では、宮城野団地と仙台電気工事組合の方々に協力していただき、毎年テクノボランティアを行っていき。この活動を通して団地の皆様に感謝されたときのよるこびを知り、安全に確実に作業するには仲間との協力が必要だということも学びました。この経験をこれからの進路に活かしていきたいです。

機械科・電気科三年

プログラミング教室

実施日 令和元年十二月三日(火) 四日(水)  
実施場所 本校工輝会館  
対象 宮城野小学校五年生 東宮城野小学校五年生



「課題研究」のテーマの一つとして「ものづくりの楽しさを伝えよう」プロジェクトと題し、小学生にプログラミング教室を行いました。自ら授業をするという立場に立ち、伝えるというところがなかなか難しいかを知りたい機会になりました。

土木科三年

測量ボランティア

実施日 令和二年一月三十一日(金) 二年二月二十八日(金)  
実施場所 八木山動物公園  
作業内容 絶滅危惧種(サイ)保護活動 動への募金活動  
C3 相澤 瑠成・阿部 冬威・伊藤 唯成

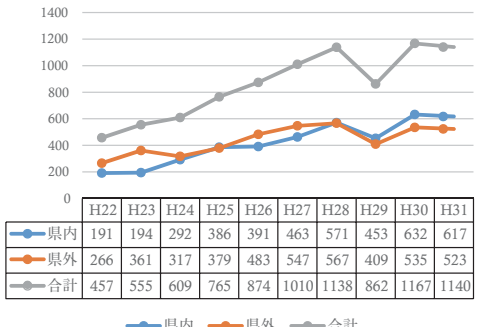


櫻井先生、遠藤先生引率のもと、測量班三名でサイを救おうプロジェクトとして募金箱とサイのモニュメントをモルタルで作成しました。八木山動物公園に設置させて頂きましたので、是非募金をよろしく願います。

今年度の進路状況

県内617件、県外523件という多数の求人があり126名の就職希望生徒はこれらの求人の中から希望にあった企業を探すことかなりの苦労をしていたように感じます。これまでに高卒の求人を出していた一部上場企業からの求人があったり、同じく大卒のみを採用していた専門性の高い技術職の求人があったりと、求人の質にも変化が見られました。進学については、指定校推薦による合格者は22名。合格者は目標を見据えて努力を重ねてきた生徒たちが多く、評定ラインよりも高い位置で推薦枠を競うという結果となりました。また、今年度は仙台高専への編入受験に2名が合格しております。早くから過去問を入手し、口頭試問の対策を行ったことが良い結果につながっております。専門学校希望者は22名中21名が合格をいただいております。こちらは指定校推薦による合格者は7名で、大学に比べて一般推薦やAO入試が多いことが特徴です。公務員には本年度8名が合格。内訳は国家・地方の技術系が4名、警察・自衛隊が4名です。8名合格とも言いましても、1人で複数の職に合格している生徒もおり、延べの合格者数は16名という結果でした。これは1学年時から公務員対策を継続して行ってきた者が多かったことが要因かと思えます。模試を重ねることに合格判定がDからAに近づいていく様に成長を感じました。

求人数の推移



進路決定状況

Table with 3 columns: Category, Count, Percentage (%)

# 体育祭

令和元年  
10月3日



クラス総合一位  
土木科二年

クラス総合二位  
建築科二年

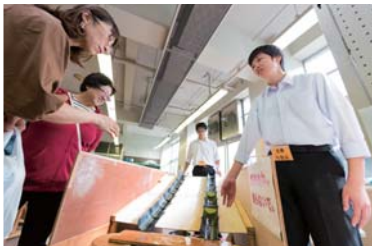
クラス総合三位  
機械科一年一組



# 仙工祭

令和最初の仙制攻撃

令和元年  
10月26日



## New Year Concert



恒例のプラスバンド部ニューイヤークンサートは一月十一日に宮城野区文化センターで開催されました。  
サクソフォーン奏者の亀井政孝先生をゲストとして迎え、十八名の部員と一緒に素晴らしいステージを繰り広げました。  
トランペットやバリトンサクソフスのソロ演奏、金管アンサンブルと続き、吹奏楽コンクールで披露した「支倉常長」を演奏し、後半はOB・OGの方々が加わり、迫力のビッグバンドサウンドを聴かせてくれました。亀井先生の魅力的なソロも素晴らしく最高の盛り上がりを見せました。  
三年生にとっては集大成のステージ、本当にお疲れ様でした。これからも出会いを大切に生きていってください！



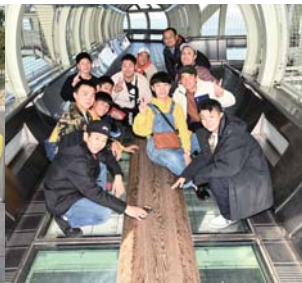
## スキー教室

1月30・31日  
えぼしスキー場

令和元年11月25日(月)  
11月28日(木)

# 修学旅行

関西方面



英語科 只野 裕子

仙台工業高校では、本当に長いことお世話になりました。10歳から18歳の生徒の成長を見守っている間に、いつの間にか定年を迎える年になっていました。総務部では、本部役員会を担当していたので、役員を引き受けていたのだいた保護者の皆様と充実した教員生活を送ることができました。ありがとうございました。



体育科 遠藤 出実

東日本大震災のどさくさに紛れて本校に赴任して早や九年、そして、教員生活三十六年、瞬間に過ぎ去っていったような気がします。確かに生後六十年は経過しましたが、まだ定年という実感が無いのが、今の正直な気持ちです。いずれ、大変恐縮ではございますが、この場をお借りして、これまで私にかかわってくださった大勢の方々に感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます次第です。



数学科 佐藤 秀之

幸せでいたいなら「床屋に行きなさい」一週間なら「部屋模様替えをしない」一ヶ月間なら「新車を買いなさい」一年間なら「新築の家を買いなさい」、では一生幸せでいたいなら? 「正直者でいなさい」

## 退職される先生方

—お世話になりました—